

組報

みなみそ

第12号

2013(平成25)年3月1日

浄土真宗本願寺派東京教区南組 大田区本羽田3-17-6 海岸寺内 TEL.3742-0921

特集
P4-5



金子みずぐ生涯と ゆかりの地



修復された築地本願寺本堂

目次

- P2 ————— 南組 組長挨拶
- P6・7 ————— 活動報告
- P8 ————— 行事予定

P3 ———— 南組の寺院紹介

浄土真宗Q&A 法名と戒名

ごあいさつ

みなみそ そちよう さくら い かん めい
南組組長 桜井 寛明

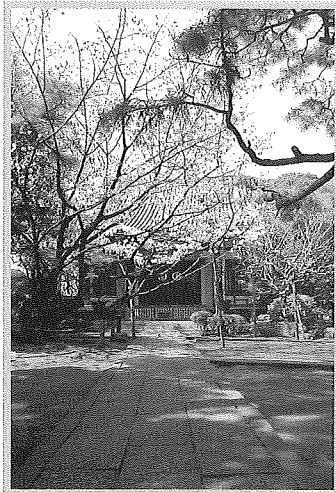
皆さまこんにちは。2012(平成24)年4月より4年間、引き続き組長をお引き受けすることとなりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

振り返りますと先の任期5年間は、親鸞聖人750回大遠忌をお迎えすることが最大かつ最重要の事業でありました。お陰さまで皆さまのご協力のもと、南組におきましては、平成22年10月に築地本願寺で開催致しました「お待ち受け法要」に500名のご参加をいただきました。そして、京都・西本願寺での親鸞聖人750回大遠忌法要には、平成23年6月に150名のご参加をいただき、賑々しく参拝を申したことでございます。

さて昨年1月、大遠忌法要の円成を承けまして、ご門主様より「新たな始まり」を期するご消息が発表されました。(ご消息は組報11号に掲載致しております)

「新たな始まり」のひとつとして、これまでの基幹運動が「御同朋の社会をめざす運動」いわゆる「実践運動」として継承・推進されていくこととなりました。ご消息の中で言われる、「時代に即応する営み」として位置づけられるところでありましょう。「そつとつながる ホッがつたわる」という宗門としての総合テーマを承けまして、東京教区におきまして「一人ひとりが大切にされる場所作り」という実践目標が掲げられました。南組と致しましても、教区の実践目標に添う形で諸行事を進めて参りたいと思えます。まだまだ手探りの状態ではありますが、ご門徒の皆さまと手を携えて、心豊かに生きることの出来る社会をめざし、「新たな歩みを進める機縁」となりますよう、歩を進めてゆきたいと思っております。





しょう えい ざん さい こう じ
松栄山 西光寺

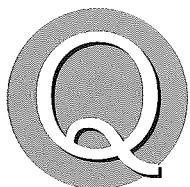


品川区大井4-22-16
 ☎ 3777-6070

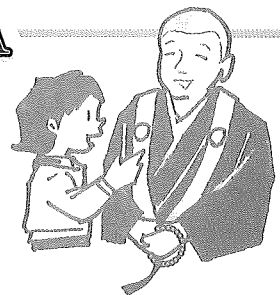
開創は平安時代の天徳2年(958)とも言い伝えられていますが、現存する文献が示すには、鎌倉時代の弘安9年(1286)に榮順律師えいじゆんりっしにより開山。もとは天台宗の寺院でしたが浄土真宗に改宗。改宗の時期は江戸初期頃と伝えられております。

江戸時代には境内に多くの桜の木があり桜の名所でありましたが、明治26年(1893)の火災でそのほとんどが焼失してしまい、現在は「兒櫻」ちござくらの一株が境内に残り当時の名残を匂わしています。本堂の南側、墓地の入口には3基の石塔があり、その中一番左側、明暦元年(1655)に大井村の人々により造立された地蔵菩薩は、塔身から浮き出して彫られた長い錫杖を右手に、宝珠を左手にもったはんにくぼ半肉彫りで、石造美術の面からも優れており、品川区指定文化財に指定されています。

浄土真宗 Q&A



ほうみよう
法名とは何ですか？
 かいみよう
戒名とは違うのですか？



A 法名(戒名)というと「亡くなった人に付ける名前」と思われがちですが、正しくは仏教徒としての名のりです。「戒名」とは本来、戒律を守ることを誓った者につける名前です。浄土真宗では戒律を説きませんので、教え(法)のもとに生活する者の名前という意味で「法名」を名のります。

法名は「釋」の下に漢字二字を付けた「釋〇〇」という形が基本です。このような形は、「仏教の始まりはお釈迦さまなのだから、出自に関係なく“釋”を姓とするべきだ」という考えからきています。親鸞聖人が「釋親鸞」と名のられたことになり、生前に名のっておきたいものです。

法名は京都の西本願寺あるいは築地本願寺で行われるききょうしき帰敬式を受けることで授与されます。帰敬式(おかみそり)とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにする儀式です。受けるには所属寺を通して申請する必要がありますので、あらかじめご住職にご相談下さい。

また諸事情により受式できない、もしくは受式前に亡くなったなどの場合には、お世話になっているお寺のご住職から法名をいただきます。

特集

金子みすゞ 生涯とゆかりの地

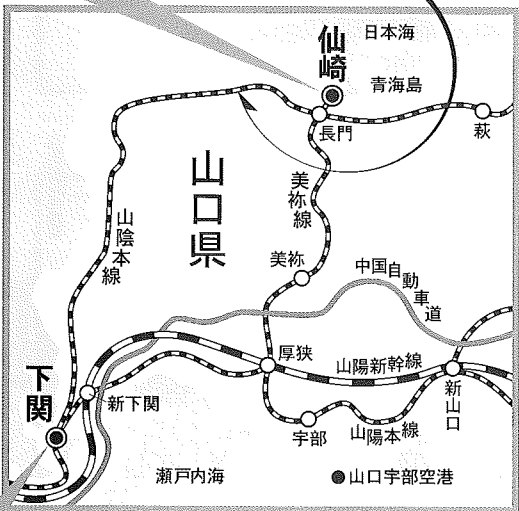


20歳の金子みすゞ

童謡詩人・金子みすゞは山口県仙崎の出身です。みすゞは熱心な浄土真宗の家庭に育ち、その作品の数々からは自然や生命に対する優しいまなざしを感じ取ることができます。金子みすゞの生涯とゆかりの地を紹介します。



みすゞ潮彩
アールデコ調に統一された列車で、下関を發って玄界灘から日本海の雄大な自然の中を進み、仙崎へと向かう。毎日運行。



「遊ぼう^{あす}」っていうと
 「遊ぼう」っていうと
 「馬鹿」っていうと
 「馬鹿」っていうと
 「もう遊ばない」っていうと
 「遊ばない」っていうと
 そうして、あとで
 さみしくなって、
 「ごめんね」っていうと
 「ごめんね」っていうと
 こだまでしょうが、
 いいえ、誰でも。
 (「こだまでしょうが」金子みすゞ)

東日本大震災の後、公共広告で流れていた詩「こだまでしょうか」。相手の気持ちを自分のことのように感じるこの大切さを考えさせられました。この詩の作者が金子みすゞです。

金子みすゞ(本名テル)は、明治36年(1903)、現在の山口県長門市仙崎に生まれました。仙崎は捕鯨が盛んな漁師町であり、また仏教の信仰が篤い土地でした。捕鯨によって町は潤っていましたが、同時に殺生の罪深さを感じていたのでしょう。向かいの青海島には、漁で死んだ鯨に名前を付けて記した位牌や過去帳が残り、鯨墓が立っています。こうした土地柄がみすゞののちに対する豊かな感性を育んだのではないのでしょうか。

みすゞは読書が好きで物静かな少女でした。成績優秀で誰にでも優しく接していたようです。20歳の頃、下関に生活の場を移し、上山文英堂という書店で働きながら詩作を始めました。「金子みすゞ」の筆名で最初に投稿した作品が『童話』など4つの雑誌で掲載され、以後次々と作品を投稿し、誌上を賑わせることになりました。

大正15年(1926)、23歳で結婚し一女を出産しましたが、詩作に理解のない夫から詩の投稿や詩人仲間との文通を禁じられ、さらには病気を患い、昭和5年(1930)2月に離婚。みすゞは、せめて娘を手元で育てたいと願いましたが、夫は娘の親権を強硬に要求。同年3月10日、みすゞは娘を自分の母に託すことを懇願する遺書を遺し、自ら26年の生涯を閉じました。

みすゞの墓は仙崎の遍照寺(浄土真宗本願寺派)にあり、祥月命日の3月10日には、毎年多くの方が参拝されています。

講演会レポート

南組仏教壮年講座

「みんなちがって、
みんないい。」

～みすゞさんのうれしいまなざし～

講師／矢崎 節夫 氏
(金子みすゞ記念館館長)

講演の中で、特に印象に残ったのが「大漁」という詩です。

朝焼小焼だ 大漁だ。
おお ばいわし 大羽鰹の 大漁だ。
浜は祭りの ようだけど
海のなかでは 何万の
鰹のとむらい するだろう。

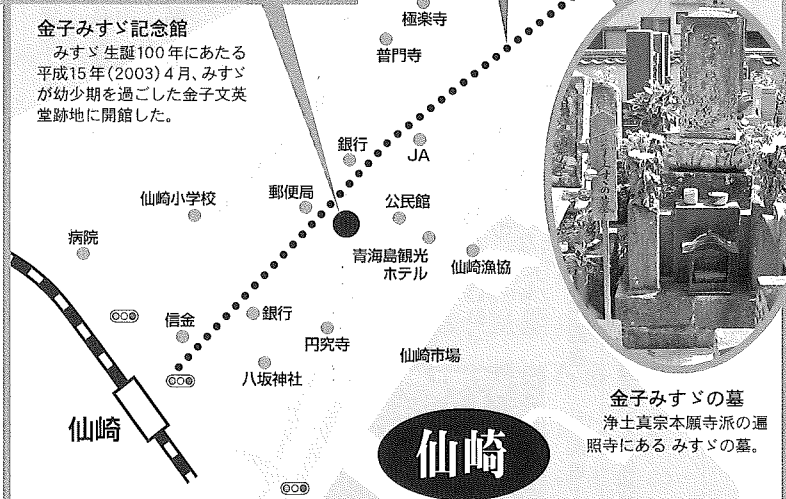
矢崎氏はこうお話をくださいました。「大漁」に出会うまで、私はずっと「私と鰹」でした。鰹は私に食べられてあたりまえ、というまなざしです。しかし、「大漁」に出合った時、この自分中心、人間中心のまなざしが、「鰹と私」にひっくり返されたのです。

私はとにかく自分中心になりがちです。なぜ私のことを理解できないのか、物事が上手く進まないと自分ではなく人のせいとってしまいます。またそのことにすら気づかない面もあります。矢崎氏は「私とあなた」から「あなたと私」に考えを転換することが大切だとお話をくださいました。理解するということは英語でアンダースタンド、下に立つと書きます。私中心の考えから相手と同じ目線になることが大切だともおっしゃっています。お話を通して金子みすゞさんは、詩という世界で私たちの忘れてしまっている大切なことを伝えてくださったのだと思いました。

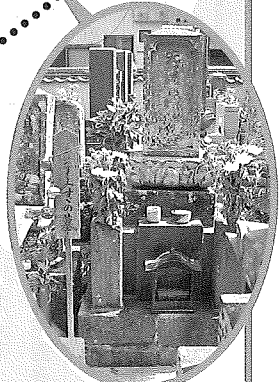
(編集部)



金子みすゞ記念館
みすゞ生誕100年にあたる平成15年(2003)4月、みすゞが幼少期を過ごした金子文英堂跡地に開館した。



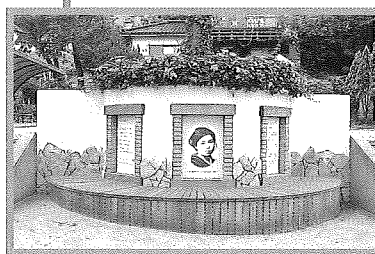
みすゞ通り



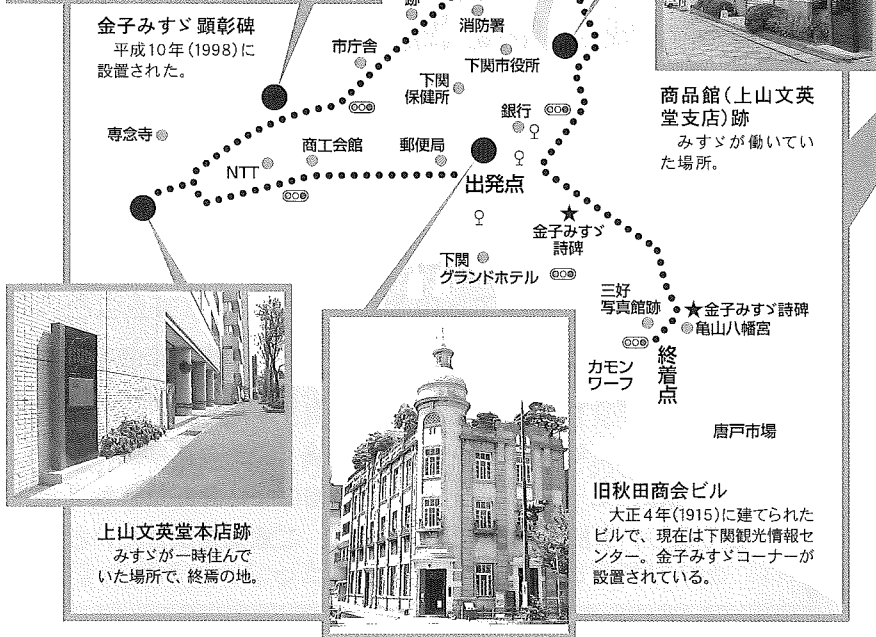
金子みすゞの墓
浄土真宗本願寺派の遍照寺にあるみすゞの墓。

金子みすゞ 史跡マップ

金子みすゞ詩の小径 下関



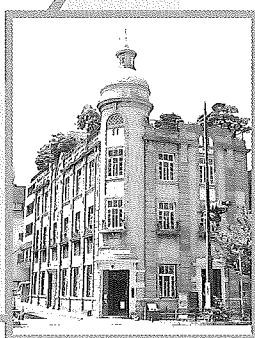
金子みすゞ顕彰碑
平成10年(1998)に設置された。



商品館(上山文英堂支店)跡
みすゞが働いていた場所。



上山文英堂本店跡
みすゞが一時住んでいた場所で、終焉の地。



旧秋田商会ビル
大正4年(1915)に建てられたビルで、現在は下関観光情報センター。金子みすゞコーナーが設置されている。

2012(平成24)年の活動

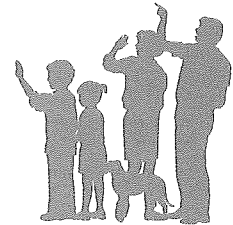
1月25日(水) 基幹運動推進委員会

2月17日(金) 基幹運動推進委員会

2月25日(土) 門信徒会運動研修協議会
「開かれたお寺をめざして」
講師/藤本真教氏
(東京教区相談員)
参加者27名



藤本真教氏
参加者27名



2月28日(火) 基幹運動推進委員会

3月25日(日) 基幹運動推進委員会

3月26日(月) みなみ会(寺族女性研修会)

3月27日(火) 組会(組長・教区会議員選出)

4月2日(月) 仏教青年会

4月19日(木) 仏教婦人会連盟役員会

4月28日(土) 組会(事業報告・会計報告)

6月26日(火) 仏教婦人会連盟総会・研修会「念仏コンサート」
講師/花月真氏(オペラ歌手) 参加者96名



仏婦研修会のようす

8月30日(木) 御同朋の社会をめざす運動(実践運動)推進僧侶研修会
「悲しみに寄り添う災害ボランティアを通して」
講師/佐々中恵雄氏(東北)
教区災害ボランティア
アセクター、ボランティア
アコーディネーター



佐々中恵雄氏
参加者96名

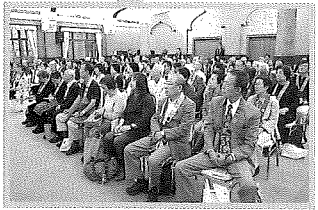
9月4日(火) みなみ会(寺族女性研修会)

9月28日(金) 仏教青年会

10月6日(土) 仏教壮年講座
「みんなちがって、みんないい。
くみずさんの
うれしいまなざし」
講師/矢崎節夫氏
(金子みすゞ記念館館長) 参加者144名



矢崎節夫氏
参加者144名



仏壮講座のようす

11月9日(金) 御同朋の社会をめざす運動(実践運動)委員会

11月16日(金) みなみ会(寺族女性研修会)

12月3日(月) みなみ会(寺族女性研修会)

南組の活動報告

門徒総代会

南組門徒総代連絡協議会代表 西教寺門徒 沢田 義一

浄土真宗のみ教えを分かりやすく

～平成24年度東京教区門徒総代・世話人一日研修会のご報告～

標題の一日研修会が10月28日築地本願寺蓮華殿で、本願寺派総合研究所研究員 前田壽雄 師をお迎えして開催されました。有難いことに約250名の多くの方々が、熱心に聴聞されました。

「浄土真宗のみ教え～総代として知っておくこと～」という演題で

- ①「浄土真宗の仏事の意義」、「み教えとの出遇い」、そして、「浄土真宗の仏事をご縁として」では、聴聞の心得、本尊、称名念仏、お焼香、お線香の供え方、供華等々、私達の身近な事柄の解説を頂きました。
- ②『拝読 浄土真宗のみ教え』について、「浄土真宗の救いのよろこび」、そして、「親鸞聖人のことば」では、聞くことは信心なり、自在の救い、をわかりやすく説明して頂きました。

本研修は、年1回の開催ですが、多くの方々に参加、聴聞して頂くことが目的であります。

今回は、知っているようで、案外知らない身近な事柄をテーマとして選定しました。なお、お話を
して欲しい事柄、内容、講演者など、ご意見を頂きたいと思ひます。よろしくお願ひします。

仏教婦人会

南組仏教婦人会連盟会長 真光寺門徒 中本 園子

一人ひとりが大切にされる場所作り ～仏教婦人会連盟活動報告～

● 2012(平成24)年6月26日(火)

南組仏教婦人会連盟研修会

築地ブディストホールにて 13時～15時30分

講題「念仏コンサート」

オペラ歌手、花月 真 氏による仏教讃歌をしみじみと深く味わわせて頂き全員感動致しました。

毎年6月に研修会を開催しておりますが、2013年は築地本願寺の親鸞聖人750回大遠忌法要(4月30日)に参拝致します。是非ご参加ください。

*
*
*
*
*
*
*
*
*
*
*

● 2012(平成24)年4月26日(木)

東京教区仏教婦人会連盟委員会の報告

御同朋の社会をめざす運動の総合テーマ

「結ぶ絆から、広がるご縁へ」

推進計画「法事の主役は？ 子供を法要に」

以上が教区連盟委員会で伝えられましたのでご報告致します。

仏教壮年会

南組仏教壮年会代表 浄興寺門徒 後藤 英朗

仏教壮年会の組織拡充で宗派活性化へ！ (平成24)年 ～東京教区仏壮会連盟の活動について～

「朋友の和を助け、いのちかがやく世界を」

これは仏壮連盟として、寺院仏壮を拡充して、浄土真宗のみ教えと門徒としての生き方を広く家族から社会に伝え、ご法義の輪を広げていこうとのスローガンです。

お陰様で、仏壮会は全国で2,550、東京教区には99、南組では5ヶ寺になりましたが、教区としてもより多くの会、仲間が増えるようにと活動しています。教区としては今年度の100ヶ寺の目標にあと1ヶ寺迄になりましたが、来年度には120ヶ寺と高い目標です。

とはいえ、ご門徒の高齢化等に伴い各寺院への参拝者も減少しているのが実情ではないでしょうか。これは次代へお念仏の相続が難しくなっているのではと大変に危惧されています。この現状を打開する為に、各寺院とご門徒が共通して取るべき方策が表題の言葉です。

昨年には本山組織が改められ、新しく「御同朋の社会をめざす運動」がスタートしました。この運動が実践出来るか否かは、ご門徒の自覚と仏壮会が中核となってお寺さまをサポート出来るかどうかにかかっていると考えます。

是非とも新規の仏壮会を設けて、南組として連携し、団結して仏壮活動を拡充して行きましょう。教区仏壮連盟はそのお手伝いをさせて頂きたいのです。

2013年の9月28日と29日には、第7回東日本仏壮大会が築地本願寺を会場に行われます。北海道、東北、長野、新潟、国府各教区と開催担当の東京教区の合同です。是非当大会にも南組から多くの同朋が参加下さるように切にお願い致します。

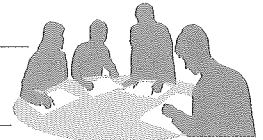
2012

敬弔

平成24年6月20日70歳
 最徳寺住職
 藤原永雄 師

2013(平成25)年の行事予定

4月27日(土)～30日(火)	築地本願寺親鸞聖人750回大遠忌法要
6月24日(月)～26日(水)	団体参拝旅行「北海道・道南」
9月2日(月)	「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」 推進僧侶研修会
10月上旬	仏教壮年講座



南組(みなみそ)とは

浄土真宗本願寺派では、全国を31の「教区」と沖縄開教区に区分けして、各教区を地域ごとに「組(そ)」に細分しています。関東地方・山梨県・静岡県は「東京教区」に属しており、その中で東京都品川区・大田区・目黒区と世田谷区の一部は「南組」の地域です。本誌で紹介しましたように、南組の寺院は組としての共同の活動に取り組んでいます。

南組に所属する浄土真宗本願寺派(お西)のお寺です

西光寺 <small>さいこうじ</small>	品川区大井4-22-16	☎ 3777-6070	延徳寺 <small>えんとくじ</small>	大田区萩中1-12-17	☎ 3732-1472
最徳寺 <small>さいとくじ</small>	大田区大森北3-18-25	☎ 3761-6811	福称寺 <small>ふくしょうじ</small>	大田区萩中1-12-20	☎ 3738-1720
徳浄寺 <small>とくじょうじ</small>	大田区大森東1-16-22	☎ 3761-4127	妙覚寺 <small>みょうかくじ</small>	大田区萩中1-12-29	☎ 3738-3091
厳正寺 <small>ごんしょうじ</small>	大田区大森東3-7-27	☎ 3761-4945	善永寺 <small>ぜんえいじ</small>	大田区萩中1-11-24	☎ 3739-5641
久宝寺 <small>きゅうほうじ</small>	大田区本羽田3-17-1	☎ 3742-0886	真光寺 <small>しんこうじ</small>	大田区萩中1-13-6	☎ 3731-5644
海岸寺 <small>かいがんじ</small>	大田区本羽田3-17-6	☎ 3742-0921	浄興寺 <small>じょうこうじ</small>	大田区東矢口2-10-9	☎ 3759-8673
福泉寺 <small>ふくせんじ</small>	大田区萩中3-27-10	☎ 3742-2048	唯称寺 <small>ゆいしょうじ</small>	品川区小山4-9-15	☎ 3782-2486
光教寺 <small>こうきょうじ</small>	大田区中央4-35-3	☎ 3771-9408	宗導寺 <small>しゅうどうじ</small>	目黒区目黒本町6-19-3	☎ 3712-6811
専浄寺 <small>せんじょうじ</small>	世田谷区等々力6-7-10	☎ 3701-4753	西教寺 <small>さいきょうじ</small>	品川区豊町1-8-12	☎ 3781-6154
報身寺 <small>ほうしんじ</small>	大田区萩中1-11-16	☎ 3738-0870	善照寺 <small>ぜんしょうじ</small>	大田区南馬込4-9-11	☎ 3771-8700
正覚寺 <small>しょうかくじ</small>	大田区萩中1-13-13	☎ 3731-9212	永正教会 <small>えいしやうきやうかい</small>	目黒区鷹番2-17-5	☎ 3714-0767